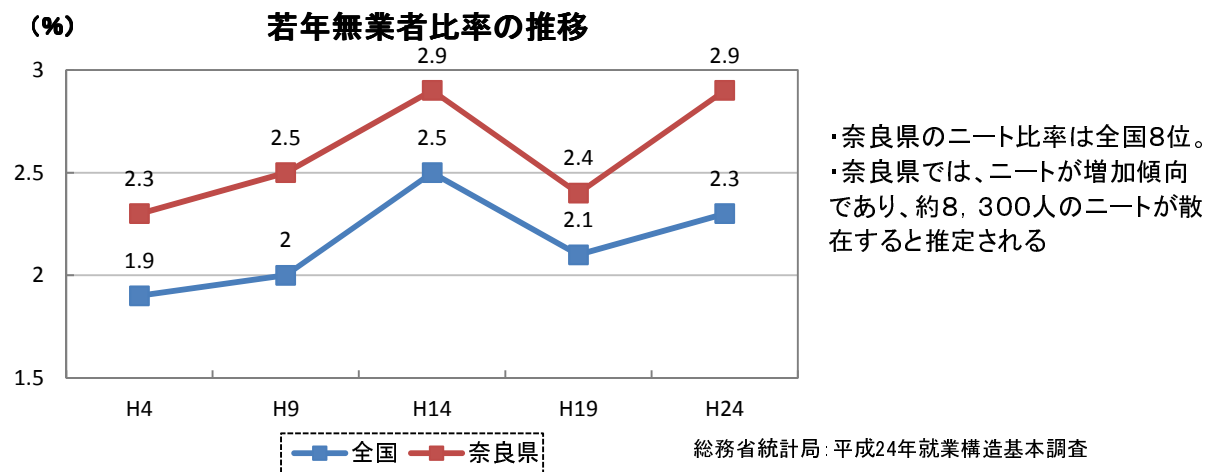


10 奈良県の少子化対策の両輪「若者の雇用の安定」と「結婚・子育て環境の改善」 ～ 奈良県で就労し、子どもを生き育てるために ～

I 若者の雇用の安定

対策① 就労意識の醸成と就労能力の向上

- (1) 早期から**就労意識を醸成**し、学校を卒業した若者がスムーズに社会で働き始めることができるようキャリア教育を充実
- (2) 働くための基礎能力や資格の取得等、**実学教育を充実**
- (3) **若年無業者(いわゆるニート)**となった原因を究明し、就労意欲を喚起するとともに早期就労を支援



対策② 雇用の場の創出と継続就労支援

- (1) 起業支援をはじめとした身近な場所での雇用の場の創出や、業種ごとの状況に応じたマッチング強化により、県内就労を促進
- (2) **早期離職者**に対し早期の再就労を支援するとともに、離職理由の分析を行うことにより、企業における雇用管理の改善促進など、今後の離職防止・職場定着を支援

◎「若者の雇用の安定」に関する取組については、「奈良県地方創生本部」の「産業・しごと・観光・農林部会」において検討し、結果を(仮称)「奈良県少子化対策プラン」に位置づけ。
(「奈良県地方創生本部」については、15頁(参考資料1)参照)

II 結婚・子育て環境の改善 (結婚し、子どもを生き育てやすい環境づくり)

対策① 男女ともに仕事と子育てを両立できる環境整備

- (1) 育児休業制度等仕事と子育ての**両立支援策の導入と円滑な運用、制度を利用しやすい環境整備**
【取組例】・育児休業取得促進事業補助金の活用促進
- (2) 短時間勤務や在宅勤務・テレワーク等柔軟な**働き方の選択肢を増やし**、子育て期の制度利用に伴うキャリアロスができるだけ小さくする働き方の実現
【取組例】・県内企業の経営者・管理職に対する意識啓発、先進事例の普及
・県民のワーク・ライフ・バランスの意識醸成
- (3) 保育士確保対策・保育所整備による**待機児童の解消**と、放課後児童クラブ・放課後子供教室の計画的な整備による**放課後対策の総合的な推進**
【取組例】・保育所の新設・増改築への財政支援
・放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的な運営の推進、定員拡充への財政支援

対策② 地域における子育て支援の充実(子育て家庭への支援)

- (1) 企業・NPO等との協働による**地域における子育て支援活動の拡充**(子育て応援、親子にやさしい地域づくり)
【取組例】・企業による子育て応援パスポート事業(なら子育て応援団)の拡充
・子育て応援県民運動の拡充
- (2) 子ども・子育て支援新制度(平成27年度～)における**幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援の「量的拡充」と「質の向上」**
【取組例】・認定こども園の推進、病児保育等多様な保育サービスの推進
・潜在保育士の再就職支援等保育士確保対策の強化
- (3) 地域資源(大学、地域子育て支援拠点、認定こども園等)を最大限に活用した親子支援により、**子育て不安・負担感軽減**のための取組を拡充
【取組例】・大学との連携による大学生と親子のふれ合い交流、次代の親の育成
・子育てレスパイト(育児疲れのリフレッシュ)サービスの推進